

留学帰国報告書

氏 名 : 岩崎 莉歩

留学期間 : 2016年3月~2017年2月

1. 出発前の準備

・留学の目的

語学力の向上、ドイツ語で専攻分野を学ぶこと。

・健康保険

健康保険は TK と AOK があります。ブレーメン経済工科大学の事務局から手続きのメールが送られてきます。私は TK に加入しました。月々約 90 ユーロ、銀行口座自動引き落としでした。ドイツ人学生によると、TK も AOK も保険料はほとんど変わりませんが、条件など TK のほうが良いそうです。

・ビザ

ドイツはビザなしで入国し、入国後 90 日以内に Bremen Universität (Universität Zentrabereich 駅)に必要書類を持って行き、ビザを発行してもらいます。ビザ発行に 100 ユーロ支払いました。

詳しくは、ドイツ連邦共和国大使館・総領事館のホームページに必要事項が全て書いてあるので、確認してください。

ドイツ連邦共和国大使館・総領事館 学生ビザ

<http://www.japan.diplo.de/Vertretung/japan/ja/03-konsular-und-visainformationen/031-visa/Studium.html>

・銀行口座

Sparkasse で銀行口座を作りました。学生は無料で銀行口座を開設することができます。Sparkasse から毎月健康保険料金を払いました。

2. 協定校での諸手続き

ブレーメン経済工科大学の事務局からメールでオリエンテーション開催日が送られてきます。そのオリエンテーションに参加すれば、すべて説明してくれます。また、大学に日本人女性の先生が 1 人いるので、わからないことがあった場合その先生が相談にのってくださります。留学前に履修などの手続きの心配をする必要はありません。

3. 宿舎と日常生活

宿舎は、ブレーメン経済工科大学の事務局からメールで添付された宿舎紹介のホームページから、自分が住みたい部屋を探しました。宿舎の種類として主に、

- ・完全に一人暮らしのアパート

- ・ 個人の部屋 + 2 人 ~ 5 人の学生とキッチンやリビング、洗面所などを共有する Wohngemeinschaft (WG)
- ・ ホームステイ

などがありました。私は地方出身で東京ではシェアハウスに住んでいたため、まだ経験したことのないホームステイ先に滞在することにしました。各々の部屋の写真や、状況が記載されているので、ホームページは比較的に見やすいです。

住みたい部屋をみつけたら、ホームページに記載されているメールアドレスに直接連絡します。このとき、候補の部屋を何件か決めておいたほうが良いです。なぜなら、オーナーから返事が全く来なかったり、途中で選考落ちしてしまう可能性があるからです。また、ブレーメンは都市と比べ家賃が比較的安く、ブレーメンで部屋を探す学生が増え、空き部屋が少なくなっている状況なので、住居探しはできるだけ早く始め、渡航前までには必ず住む部屋を確保しておくべきです。

私は一人暮らしのおばさんの家にホームステイをしていたので、家族の一員として日常生活を送りました。ホームステイ先によりませんが、私のホームステイ先は他の学生と比べてハウスルールなど厳しかったと思います。しかし、一緒に食事をしたり、小旅行に行ったりと、学生とのシェアハウスでは経験できないようなこともできたので、良かったです。週末には友達と、外食、散歩、映画館に行ったりと、のんびり過ごしました。

4. 協定校のカリキュラム・履修した授業、課外活動、留学の成果

留学生ガイダンスで明治大学でいう *oh-o meiji* のように個人の ID とパスワードで履修したい授業を登録します。私は帰国後の単位交換のことを考え、明治大学で開講されている授業内容とできるだけ一致している授業を選びました。留学生向けの英語での授業と別に、ドイツ語での授業もありますが、後者は一定のドイツ語能力を証明できるものが必要でした。

課外活動としては、私はスポーツクラブに参加しました。Universität Bremen のスポーツジムやプールに通いました。

ドイツ語力は留学前と比べたら上がったと思います。また、ドイツ語での授業にも挑戦することができ、とても良い経験になりました。

5. 帰国準備

帰国前に必ずやらなければいけないことは、銀行口座、住民票、健康保険の解約です。銀行口座は口座を作った支店に行けば、いつでも解約することができます。住民票は帰国 1 週間前からしかできません。ブレーメン経済工科大学 Neustadt キャンパスの International Office に行き、住民票の除票書類をもらい、書類に必要事項を記入し、提出したら完了です。健康保険は、保険会社に出向き、解約したいと申し出れば、すぐに解約することができます。

6. 商学部生へのメッセージ

少しでも留学に興味がある学生は早めに明治大学の留学制度を調べると良いと思います。商学部協定校のブレーメン経済工科大学に興味がある学生は、ドイツ語の授業を担当している先生にまず相談することをお勧めします。私も大学 1 年生の時に、ドイツ語の授業担当の先生から当時ドイツ留学選考を担当していた渡辺成美先生、Jutta Kowallik 先生を紹介してもらいました。

私は 3 年次にドイツ留学を希望していたので、留学選考が 2 年次の 6 月頃にありました。商

学部は2年生からゼミ活動が始まるので、ゼミの先生方にも留学について相談しました。私の所属しているゼミの先生方は留学に寛容的でしたが、厳しい先生も中にはいると聞きました。ゼミ選びも留学を目指す際にはとても重要だと思います。

最後に、私はドイツ留学を通して、語学はもちろん、専門知識も深めることができました。私の中で一番うれしかったことは、留学していなかったら出会うことのない人たちと出会えたことです。欧米、中東、アジアと、様々な国からきた留学生と知り合えたことは一生の宝物です。留学して後悔することはないと思うので、少しでも留学に興味がある学生はぜひ調べることからでも始めてみてください。